

ASR5500:最適なポート使用率バランスのためのMIO/UMIOポート接続

内容

[概要](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

概要

このドキュメントでは、最適なポート使用率バランスを実現するために、アグリゲーションサービスルータ(ASR)5500の管理I/O(MIO)カードまたは管理I/Oユニバーサル(UMIO)カードのリンク集約グループ(LAG)のポート接続について説明します。

問題

ASR 5500のLAGには、次の2つの一般的な構成モデルがあります。

- 冗長構成モデル。1つのMIO/UMIOカードのポートが同時にトラフィックを通過させます。
- MIO/UMIOカードのポートが同じスイッチに接続されている非冗長 (すべてのアクティブ、アクティブ/アクティブ) LAG設定。

[『ASR 5500 System Administration Guide for ASR 5500 System Administration Guide』を参照してください。](#)

Equal Cost Multiple Path(ECMP)は出力パスを担当し、出力パス内の複数のリンクにトラフィックを均等に分散します。

解決方法

非冗長 (すべてのアクティブ、アクティブ/アクティブ) LAG設定の場合、ルータの冗長性を提供するために、お客様には2つのLAGバンドル(L1、L2)が用意されています。

非LAGポートが必要な場合は、各NPUの最後のポート(14、19、24、29)を最初に考慮する必要があります。これにより、非LAGポートに影響を与えることなくLAGサイズを拡大できます。

推奨される構成は、最適なネットワーク処理ユニット(NPU)使用率と、最適なポート使用率バランスを提供します。同じ推奨事項が、2つのアクティブ/スタンバイLAGグループ上のECMPにも適用されます。

LAGグループの数	LAGグループあたりのポート数	推奨ポート設定5/X、6/X 5/10はL1のマスター、 5/11はL2のマスター
0	0	L1:10 15

L2:11 16

0	3	L1:10、 15、 20 L2:11、 16、 21
0	4	L1:10、 15、 20、 25 L2:11、 16、 21、 26
0	5	L1:10、 15、 20、 25、 12 L2:11、 16、 21、 26、 13
0	6	L1:10、 15、 20、 25、 12、 17 L2:11、 16、 21、 26、 13、 18
0	7	L1:10、 15、 20、 25、 12、 17、 22 L2:11、 16、 21、 26、 13、 18、 23
0	8	L1:10、 15、 20、 25、 12、 17、 22、 27 L2:11、 16、 21、 26、 13、 18、 23、 28
0	9 ミリ秒	L1:10、 15、 20、 25、 12、 17、 22、 27、 14 L2:11、 16、 21、 26、 13、 18、 23、 28、 19
0	10	L1:10、 15、 20、 25、 12、 17、 22、 27、 14、 24 L2:11、 16、 21、 26、 13、 18、 23、 28、 19、 29